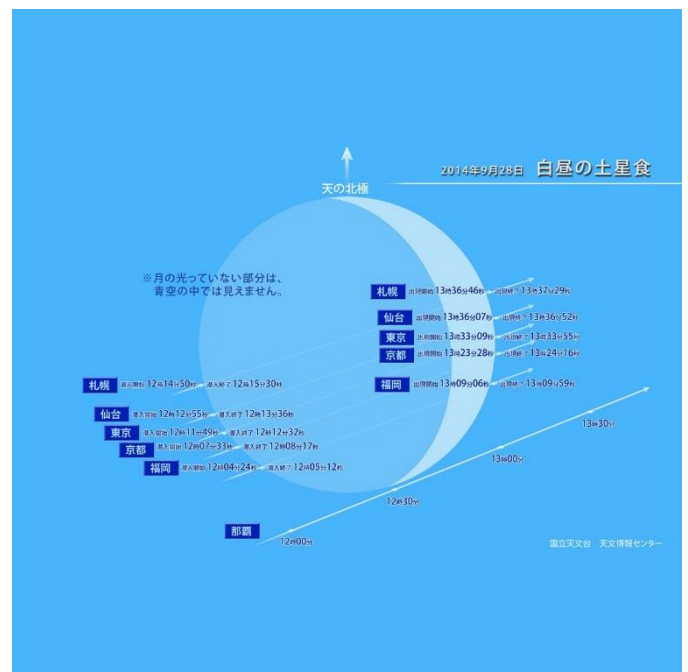


12月8日の土星食のお話

晴れの日が続き、だんだん寒くなってきているのを感じますね。市ヶ谷駅の近くの堀にも、冬鳥がやってきているようです。街路樹も色づいた葉を落とし始めていて、少しずつ冬本番、といった風情ですね。

さて、12/8（日曜日）の夜に土星食が起きました。東京では18時19分ごろから19時2分ごろにかけて観測でき、天気も良かったため、各地の天文台などで観測やライブ配信が行われていました。

「食」とは、ある天体（の一部）が他の天体の向こうに隠れるなどして見えなくなることで、日食（太陽が、月の向こうに隠れる）、月食（月が、地球の影に隠れる）が有名です。今回の土星食は、月の向こうに惑星が隠れる「惑星食」のうち、月の向こうに土星が隠れる、という現象でした。



惑星食のイメージ（2014年の土星食）

画像は国立天文台

日食や月食に比べると、昼間に発生しても肉眼で観測することが難しく、

日本で夜に広く観測できる土星食が起こったのは2002年の3月以来、約22年

半ぶり、次に起きるのは2037年で、13年後になります。

あんDoは、6年生の授業が終わった後に急いで帰り、家の近くから空を見上

げることができました。その時の写真を貼っておきます。



食の前。月の上に見えているのが土星です。



完全に隠れる直前。拡大しないと土星は見えないかも。

次のページの2枚は土星食が終わったところです。こちらも拡大して見て下

さい。月はきれいに写ったのですが……下手くそでごめんなさい。



出てきた直後。月に露出があるので、完全に月から出て、食が終わったあと。

上の2枚よりも土星が暗くなっています。

12/14には、ふたご座の流星群が極大(一番活発になる時期)をむかえ、条件しだいで1時間に40個ほどの流星が観測できるかもしれません。今年は満月が近く、月が明るいために観測条件が良いとは言えませんが、願い事を考えながら空を見上げてみるのもたまにはいかがでしょうか?(早起きできる人は、満月が沈みかける明け方がおすすめです。) ついでに冬の冬の大三角などを探してみるのも楽しいですよ。

24/12/12 (夜空を見る時は足元と寒さに気をつけよう) あん Do

参考：

https://tenki.jp/forecaster/r_fukutomi/2024/12/08/31677.html

(tenki.jp の土星食を紹介した記事)



<https://www.youtube.com/watch?v=I8K0yhII8E>

(国立天文台の土星食ライブ配信)



<https://weathernews.jp/s/topics/202412/110115/>

(ふたご座流星群の紹介記事：ウェザーニュース)

